

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 4 部門第 1 区分
【発行日】平成 17 年 12 月 22 日 (2005.12.22)

【公表番号】特表 2004-509246 (P2004-509246A)
【公表日】平成 16 年 3 月 25 日 (2004.3.25)
【年通号数】公開・登録公報 2004-012
【出願番号】特願 2002-526616 (P2002-526616)
【国際特許分類第 7 版】
E 0 1 B 25/30
【F I】
E 0 1 B 25/30

【手続補正書】
【提出日】平成 16 年 8 月 11 日 (2004.8.11)
【手続補正 1】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ビーム (1) 上に、ビーム (1) の長手方向に延在する第一のフランジ (2) が設けられ、更にウェブ (4、4') がビーム (1) の長手方向に延在し、および第一のフランジ (2) から離れたウェブ (4、4') の端部に、第二のフランジ (3、3') が設けられ、これにより車両の案内を行う付加的な構成部材がフランジ (2、3、3') の端部に設けられ、これらの端部が相互間に間隔を有する、軌道に案内された車両、特に磁気浮揚鉄道のコンクリート製、特にプレキャストコンクリート構成材による走行路用ビームであって、第一のフランジ (2) から離れたウェブ (4、4') の各端部に第二のフランジ (3、3') が設けられ、これにより第二のフランジ (3、3') がウェブ (4、4') の端部から実質的にビーム (1) の外部まで外側に向かって延在するビーム。

【請求項 2】

第二のフランジ (3、3') の領域におけるウェブ (4、4') が、第一のフランジ (2) の領域におけるよりも大きな相互間の距離を有し、この構成のビーム (1) が少なくとも部分的に第二のフランジ (3、3') の側面から金型より取り出される請求項 1 に記載のビーム。

【請求項 3】

第一のフランジ (2) が上部または下部フランジ (2) であり、第二のフランジ (3、3') がビーム (1) の下部または上部フランジ (3、3') である請求項 1 または 2 に記載のビーム。

【請求項 4】

ビーム (1) の断面図上の重力の中心が断面図の中間的な高さにある請求項 1 ~ 3 のいずれか 1 項に記載のビーム。

【請求項 5】

ウェブ (4、4') 同士を連結する閉鎖板体 (5、5') がビーム (1) の端部に配置されている請求項 1 ~ 4 のいずれか 1 項に記載のビーム。

【請求項 6】

閉鎖板体 (5、5') 上に、ビーム (1) を支承するコンソール板体 (6、6') が配置されている請求項 1 ~ 5 のいずれか 1 項に記載のビーム。

【請求項 7】

中空空間に少なくとも１枚の隔壁（１３）が配置され、これによりウェブ（４、４'）同士が結合されている請求項１～６のいずれか１項に記載のビーム。

【請求項８】

ビーム（１）の横方向の圧縮応力付与部材の領域、および／または付加的な取付部品、特に車両の案内を行うためのコンソール（１４）の領域に隔壁（１３）が配置されている請求項１～７のいずれか１項に記載のビーム。

【請求項９】

隔壁（１３）は主にウェブ（４、４'）の一部と結合している請求項７または８に記載のビーム。

【請求項１０】

ビーム（１）の製造後、中空空間の領域内の第二のフランジ（３、３'）が底部板体（７）によって少なくとも部分的に連結している請求項１～９のいずれか１項に記載のビーム。

【請求項１１】

底部板体（７）がコンクリート内に包含されている請求項１０に記載のビーム。

【請求項１２】

底部板体（７）が特に枠状構造体の形状の金属、プラスチックまたはコンクリートからなる請求項１０または１１に記載のビーム。

【請求項１３】

底部板体（７）が少なくとも部分的に荷重支承板として設計されている請求項１０～１２のいずれか１項に記載のビーム。

【請求項１４】

底部板体（７）がビームに対してねじれ耐性を有するようにビーム（１）と連結されている請求項１０～１３のいずれか１項に記載のビーム。

【請求項１５】

ビーム（１）中に圧縮応力付与部材が存在する請求項１～１４のいずれか１項に記載のビーム。

【請求項１６】

フランジ（２、３、３'）の外部領域に張力付加補強ロッド（９）が連結されることなく配置されている請求項１～１５のいずれか１項に記載のビーム。

【請求項１７】

中央張力付加部材が中空空間に配置されている請求項１～１６のいずれか１項に記載のビーム。

【請求項１８】

中央張力付加部材が断熱されている請求項１７に記載のビーム。

【請求項１９】

中空空間の領域内に設けられた閉鎖板体（５、５'）の少なくとも１つに緊張状態の凹所（１１）が設けられている請求項１～１８のいずれか１項に記載のビーム。

【請求項２０】

中空空間の領域内に設けられた閉鎖板体（５、５'）の少なくとも１つに圧縮応力付与素子用の緊張状態のバーを固定するための鋼板（１０）が設けられている請求項１～１９のいずれか１項に記載のビーム。

【請求項２１】

ビーム（１）が複数部分からなるビームの一部であり、複数の正確に配置されたビーム（１）が予め張力の付加された状態で結合している請求項１～２０のいずれか１項に記載のビーム。

【請求項２２】

第一のフランジおよび／または第二のフランジ（２、３、３'）が車両に対して気流が好適に作用するように設計され、車両に付与される可能性のある車両の断面形状の変化を実質的に回避する請求項１～２１のいずれか１項に記載のビーム。

【請求項 2 3】

ビーム(1)の第一のフランジ(2)および第二のフランジ(3、3')の太陽光に暴露される表面および/または張り出し部分が同様の小さな温度勾配を有する請求項1~2のいずれか1項に記載のビーム。

【請求項 2 4】

ビーム(1)の外方に少なくとも部分的に熱吸収面および/または反射面が設けられている請求項1~23のいずれか1項に記載のビーム。

【請求項 2 5】

ビーム(1)の外方が少なくとも部分的に塗料の被覆を有する請求項1~24のいずれか1項に記載のビーム。

【請求項 2 6】

ビーム(1)の外方の少なくとも一部に、遮光素子が設けられている請求項1~25のいずれか1項に記載のビーム。

【請求項 2 7】

第一のフランジまたは第二のフランジ(2、3、3')が他の車両用、特に建設用車両、点検車両または補助車両用の走行路として設計されている請求項1~26のいずれか1項に記載のビーム。

【請求項 2 8】

第一のフランジと第二のフランジの間に熱補償手段、特に熱移動手段が設けられている請求項1~27のいずれか1項に記載のビーム。

【請求項 2 9】

熱の均等化のために、特にセンサおよびポンプを具備する制御/調節システムが設けられている請求項1~28のいずれか1項に記載のビーム。

【請求項 3 0】

熱均等化手段が熱移動液体、特に油類を含むラインであり、熱移動液体がライン中を能動的または受動的に循環する請求項28または29に記載のビーム。

【請求項 3 1】

熱均等化手段が冷却素子および/または加熱素子である請求項28~30のいずれか1項に記載のビーム。

【請求項 3 2】

温度に依存し制御された圧縮を行う手段、特に張力付加部材(9)の一方の面を暖めることによりビーム(1)を変形可能とする請求項1~31のいずれか1項に記載の方法。

【請求項 3 3】

圧縮手段が適する太陽電池および/または太陽光回収器に連結している請求項32に記載の方法。

【請求項 3 4】

ビーム(1)上に、ビーム(1)の長手方向に延在する第一のフランジ(2)が設けられ、更にビーム(1)の長手方向に延在するウェブ(4、4')がビーム上に設けられ、および第一のフランジ(2)から離れたウェブ(4、4')の端部に、第二のフランジ(3、3')が設けられ、車両の案内を行う付加的な構成部材が相互に間隔を有するいずれかのフランジ(2、3、3')の端部に設けられ、特に請求項1~33のいずれか1項に記載のビーム(1)を製造するために用いられる、軌道により案内される車両、特に磁気浮揚鉄道のコンクリート製、特にプレキャストコンクリート構成材による走行路用ビームの金型であって、金型が個々の構成部材(31、32、33、34)から構成されることにより、各構成部材を交換することにより複数種類のビーム(1)が製造可能である金型。

【請求項 3 5】

離型の際の張力付加部材の緊張緩和により、各構成部材が相互に摺動可能に結合して相互の長さを調整する請求項34に記載の金型。

【請求項 3 6】

金型構成部材が、突起コンソールによる種々の荷重支承を可能とする請求項 3 4 または 3 5 に記載の金型。

【請求項 3 7】

荷重支承板の領域内の金型構成部材が支承板 (1 6) を具備する請求項 3 4 ~ 3 6 のいずれか 1 項に記載の金型。

【請求項 3 8】

突起コンソールの領域内の金型構成部材が仕上げ固定用または換気用の開口を具備する支承板を受け入れるための凹所を有する請求項 3 4 ~ 3 7 のいずれか 1 項に記載の金型。

【請求項 3 9】

金型構成部材がビーム長さを変更可能とする請求項 3 4 ~ 3 8 のいずれか 1 項に記載の金型。

【請求項 4 0】

金型構成部材が中空空間を種々の形態で形成可能である請求項 3 4 ~ 3 9 のいずれか 1 項に記載の金型。

【請求項 4 1】

金型構成部材が、数、形状および寸法の異なる隔壁 (1 3) を製造可能とする請求項 3 4 ~ 4 0 のいずれか 1 項に記載の金型。